



# 総合教育センターだより



京都府総合教育センターは創立30周年を迎えました

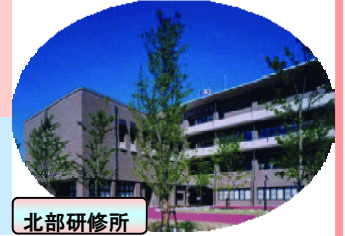
## BE Connected

平成23年1月14日(金)  
第22号(通算第105号)  
京都府総合教育センター  
TEL 075-612-3266



総合教育センター

## 総合教育センター 創立30周年!!



北部研修所

総合教育センターは、本年度創立30周年を迎えました。今後も「学校・教職員を支援するセンター」をコンセプトに、研究・研修・教育相談事業等の一層の充実を図って参ります。

今月号は、30周年を機に、「回顧と展望」に思いを馳せながら、これまでの「センターの歩み」を振り返り、過日、記念事業の一環として開催された「副校長・教頭・事務長講座」(12/9)での北京オリンピックメダリスト朝原宣治氏の記念講演(要旨)を御紹介します。

今後、記念誌「総合教育センター30年の歩み」(仮称)も発刊の予定です。



## 記念講演 柔軟な発想!周到なプラン!新しい自分!

演題: 夢を追い続けてー目標達成のためのセルフマネジメントー

### 朝原宣治氏

- ◆大学時代、「厳しい規則や与えられた目標のもと、指示を待ち、こなす練習」から「自ら情報収集し、目標設定する自由で楽しい練習」というセルフマネジメントの考え方をもちた。自由な発想、柔軟な頭をもつことの大切さがわかった時だった。
- ◆指導者も色々な理論を持っている。一つ一つは面白いが万人に理解されるかというとな難しい。色々な練習方法があるが、そのまま練習すれば皆強くなれるということではない。個人個人における練習方法の組合せと自分とのマッチングが大事である。
- ◆入社後、陸上界のパイオニアを目指してドイツへ陸上留学をした。本場で本当の実力を知った。怪我、そして骨折。しかしそれを転機にゼロからのスタート、新しい朝原を決意した。
- ◆リハビリの後、シドニーオリンピックを迎えた。落ちる体力・技術、崩れゆく自信・感覚を感じながらも、リレーアンカーとしてチャンスを与えられた。10万人スタジアムで走れる喜び、支えてくれる人への感謝、新しい競技人生がシドニーから始まった。
- ◆2004年アテネ五輪は、32歳の晩年だった。競技人生最後の挑戦と位置付けた。本質を見極め、可能性を引き出すために、柔軟に軌道修正し、局所的な視野と総括的な視野を併せ持ち、周到なプランと準備をした。
- ◆2008年北京オリンピックでは、引退でなく選手続行の会見をし、腹を決めた。挑戦せずくよくよしたくなかった。目標は「完全燃焼」であった。
- ◆今後は次世代の子どもたちを育てていきたい。陸上の普及もあるが、一番の目標は、「子どもたちが社会に出て生きていく力をつけること」と考えている。



### 経歴

同志社大学卒業後、大阪ガス(株)に勤務。現在、近畿圏部に在籍し、社会貢献活動等幅広く活躍。オリンピック4回連続出場。世界陸上6回出場。100mの自己記録は10秒02の日本歴代2位。2008年北京オリンピックで4×100mリレーで銅メダル獲得。同年9月に競技生活を36歳で引退。2010年4月次世代を担うトップアスリートの育成を目的として、陸上競技クラブ「NOBY(ノビィ) TRACK&FIELD CLUB」設立。





# センター30年の歩み



## 草創期 一整備と構築の10星霜一

昭和56年4月～平成3年3月

急激な社会の変化と進展に伴い、教職生涯にわたる必要な研修を段階的、系統的に体系化されました。

まさに**研修のグランドデザイン**が整備された時でした。



- ◆昭和56年度 **センター発足**（3部1課制）。  
事業：研究、研修、教育相談等
- ◆昭和61年度 「新規採用教諭等研修」実施
- ◆平成元年度 「初任者研修」本格実施  
（小学校から順次実施）

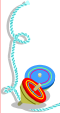


## 発展期 一深化と改善の20星霜一

平成3年4月～平成13年3月

社会の変化や時代の趨勢に対応した教職員の資質能力向上のための研修が実施されました。

まさに**教職員研修の改善**に力が注がれた時でした。



- ◆平成3年度 「講堂棟」竣工
- ◆平成6年度 「トータルアドバイスセンター」、  
「いじめ緊急電話相談」設置
- ◆平成9年度 「京都みらいネット」開通
- ◆平成11年度 「北部研修所」開所



## 充実期 一継承と発展の30星霜一

平成13年4月～平成23年3月

教職員が必要な研修を計画的・継続的に受講できるよう、「単位制履修制度」が導入されました。

まさに**人材育成システムの充実**が図られた時でした。



- ◆平成18年度 「24時間電話教育相談」開始
- ◆平成19年度 「カリキュラムルーム」開設  
「企業連携・大学連携講座」開設
- ◆平成20年度 「出前講座」開始
- ◆平成21年度 「単位制履修制度」導入



センターでは、学校や教職員に役立つ様々な実践的研究を実施しています。その研究成果物として、次の3種を各学校に配布しました。是非、ご活用ください。

### 京都府中学校学力診断テストの概要(CD版)

「小学校基礎学力診断テストの概要」に引き続き、この度「平成22年度京都府中学校学力診断テストの概要(CD版)」を作製しました。

**学習課題を明らかにできる！  
授業改善に活用できる！**

※関連講座「中学校学力の  
状況分析・活用講座」  
(1/25センター 1/27北部)



【配布：中学校】

### 単元指導パッケージ(Ver.7)

センターとカリキュラム開発校で進めている実践的研究成果をVer.7としてまとめました。「活用」の力を育てるポイントを解説しています。

**すぐに授業に  
使える  
ノウハウを  
パッケージ化！**



【配布：小・中・特別支援学校】

### ゼロからの英語ノート2活用法(Ver.2)

文部科学省発行「英語ノート2」に対応した研修用DVDを作製しました。(Lesson1～9の内容収録)“実演映像”でわかりやすく解説しています。

**研修会でも、  
教材研究でも、  
授業でも、  
活用できる！**



【配布：小・特別支援学校】

### センターからの一言

心を込めれば心が帰ってくる      心を尽くせば心が応えてくれる  
心、それは一番大切なもの・・・      心、それは見えないが見えてくるもの・・・

